

## 自然史博物館資料整理ボランティア（地質・岩石・鉱物分野）の活動

佐藤真由美・関 栄・安江 健

### 1. はじめに

群馬県立自然史博物館の地質・岩石・鉱物分野の資料整理ボランティアを募集している。このボランティア活動の内容は、①岩石・鉱物資料を教育・普及または調査・研究で使えるように調整することと、②岩石・鉱物資料の管理をすることである。平成27年度のボランティア活動では、岩石を顕微鏡で見るための**岩石薄片を作成すること**および寄贈された**鉱物標本の写真撮影**を行っているので、これらの活動内容を報告する。

### 2. 岩石薄片の作成

岩石に含まれる鉱物や、岩石の組織を詳細に記載するためには、岩石を顕微鏡で観察する必要がある。岩石薄片とは、プレパラートに貼付した岩石を光が透過するまで薄くして、顕微鏡で観察できるようにしたものである。

岩石薄片の作成は3つの作業段階に大区分される：(1) 消しゴム大に切断した岩石資料の一面を研磨する。(2) 研磨した面をスライドガラスに樹脂で貼り付け、樹脂が乾燥した後岩石チップを数 mm 残して切断する。(3) 数 mm の厚さの岩石を 20~30 $\mu\text{m}$  で仕上げられるように研磨する。通常の岩石資料の場合、#180, #320, #800, #1000, #2000 および#3000 を順番に用いて湿式研磨を行う。上記の工程(3)は、高度な技術が必要とされるため、現在担当ボランティアはこの技術の習得に努めている。

### 3. 鉱物標本の写真撮影

自然史博物館では、収蔵標本の標本写真の更新を行っている。標本の概要を把握できる写真の登録は、後の標本検索時に有効な情報となる。一方、鉱物分野では、概要を把握するための標本写真のほかに、展示・教育・普及用として鉱物の魅力を伝える標本写真も必要である。このような写真は今までほとんど登録されていないため、担当ボランティアは、鉱物の知識を習得するとともに、鉱物写真撮影の技術を向上させながら作業を行っている。特に平成27年度の活動としては、寄贈された約1,000点からなる松本浮夫コレクションの写真撮影を進めている。

キーワード： 岩石薄片, 鉱物, 標本写真, 博物館ボランティア